躍進つづける明石南高等学校

暁美会報

発行所
県立明石南高等学校同窓会
社団法人 暁美会
兵庫県明石市明南町2丁目14番20号
電話学校 078 (923) 3617
同窓会館 078 (928) 2733
題字は会長 正井英氏筆

新入会員四〇八名を迎える

母校第35回卒業証書授与式は、3月1日午前十時より体育館で挙行、男子一八九名、女子二一九名、合計四〇八名でした。

暁美会入会を記念して、新入会員にコップを贈りました。

暁美会の力強い発展を願って

同窓会長　正井　英

同窓会の皆様には益々ご健勝で精励なさっている事とお慶び申し上げます。

激動と混迷の時代といわれた八十年代も年々時を経るに従がって益々その激しさを増し、我が国をとりまく内外の情勢は依然として厳しく、世界は米ソ首脳による中距離核戦力全廃条約調印民衆をわかせた韓国での大統領選挙など新しい時代への動きが始まり、我が国においては、竹下政権の誕生によって過去の「三角大福中」の旧実力者時代は終り経済大国日本への国際化要求と円高ドル安の波が全日本社会の隅々迄を激しく洗い、目前の九十年代から二十一世紀への明るい展望が開けるかどうかの重要な時期に来ております。

我が母校も昨年四月、八木勇蔵（高校四回）校長が第十二代校長として着任され永年問題であった運動場も想像以上に見事に改造され校長を中心として明石南高校の名誉高揚に努力がなされ、県下に類を見ない明石一の高等学校に変貌してまいりました。これは偏に先輩の方々並びに学校育友会の皆様方の力強いご支援ご指導ならびに、ご協力のお陰であると深く感謝する次第であります。この記念すべき時を契機として、本年度総会（暁美会）に是非卒業生の皆様方に立派な母校の姿をご観覧して頂きたく思っております。今後の母校と暁美会の発展を考える時、今こそ「学校・育友会・同窓会」が一丸となって努力せなければならない重大な節であると思います。全国に誇る社団法人暁美会が今後二十一世紀に向って進展してゆく為に後輩達に何物かを残しておきたいと思っております。三年後には暁美会も七十周年を迎えようとしております。どうか会員各位の絶大なるご援助とご協力を賜わりますよう心よりお願い致しまして、挨拶といたします。

校歌作詩者 草野先生文化勲章受賞

学校長　八木勇蔵

本校校歌の作詩者草野心平先生が、昨秋文化勲章をお受けになりました病床で車椅子に乗って受賞されているお姿をテレビで拝見し、お元気に本校においでになった二回のご訪問をなつかしく想い出しました。一回目のご訪問は本校が大蔵谷から鳥羽台に移転した昭和四十年の春のことでした新校舎の屋上から摩耶山や六甲山をながめたり、淡路島に渡って校歌作詩の想を練っておられた姿が思い出されます。

第二回目のご訪問は、昭和四十六年、本校五十周年記念式典の時でした「生徒諸君への告白」と題する一文を五十周年記念誌にいただき、校歌作詩の時の裏話など書いていただき「この校歌は、夏の甲子園で勝って歌うのに最もふさわしい」との感想をいただきましたこの時には全校生徒の前で記念講演もしていただきました。この本校へのご訪問は草野心平年譜にも出ております。私達が誇りにしている現校歌が作詩者の文化勲章受賞によって更に光を増しました。受賞をともにお喜びしたく思います。

母校校長就任の喜びと責任 伝統誇る明南の積極的学校経営

学校長　八木勇蔵

「明南は沈滞している」との声を耳にしながら、教頭として着任してから三年間学校のムードを変え、生徒職員が「明るさ」と「活力」を取りもどし、昭和六十一年には国公立大学への進学成績を市内第一位に上げて「自信」が見られるようになった昨年四月、校長の大任を引きうけることになりました。

私自身明石南高校第四回の卒業生であり、若い頃十五年にわたって教諭として勤務し、その後もずっと同窓会の役員として母校をいつくしんでおりました。この間、長女も、長男も本校でお世話になり、それぞれ希望する進路に進んでおります。親子二代にわたってお世話になった母校に感謝する気持とともに、明南が自分の「からだ」のように感じて、これ程大切なものはなく、この学校の充実、発展のためには身命を賭してがんばる決意が湧いてきます。

本年は「生徒一人一人の進路希望を達成させる学力向上」を目標に「活き活きと、明るく、さわやかに」を合い言葉として教育を進めてきました。その結果、ウエイトリフティング部は北海道での全国高校総合体育大会で団体優勝を果し、高松宮賜盃を持ち帰り、県からは「ゆづりは賞」をいただきました。

昭和六十三年は更に「新運動場の竣工記念式や六三総体の行事をバネに学校を更に活性化させること」「国際社会に貢献する日本人を育成するための国際理解教育の推進」および「人間としてのあり方、生き方の教育」の三つを、「学力向上」に加えたいと思っています。

現在、臨教審の答申にも見られるように我が国の高校教育も一つの曲り角にきておりますが、私はこれからの数年間に、他の高校にない特色をいかに作り出してゆくかが、市内最古の伝統を誇る本校の将来にも大きな影響を及ぼす事になると考えております。この大切な時期に、校長として、母校の学校経営にあたることができるのは、私の大きな喜びであると共に、その責任の重大さを痛感しております。故谷きくえ先生の霊に合掌しつつ。

昭和61年度 大学 短大 合格者数

国立大学

大学	現	浪	計
北海道	1		1
岩手		1	1
東北	1		1
上越教育		1	1
東京芸術		1	1
横浜国		1	1
信州	1		1
三重		1	1
大阪外語	1(1)		1(1)
大阪教育	2	1	3
神戸	6(1)	1	7(1)
神戸商船	2	1	3
兵庫教育	1		1
岡山	2		2
鳥取	1	1	2
広島	2	1	3
徳島	1		1
愛媛	1		1
高知	1	2	3
鹿児島		2	2
宮崎		1	1
合計	23(2)	15	38(2)

公立大学

大学	現	浪	計
都留文		3	3
横浜市立	1		1
大阪市立	1		1
大阪府立	1		1
神戸市外語	1(1)	2(2)	3(3)
神戸商科	5	2	7
姫路工	1		1
下関市	2		2
北九州		1	1
合計	12(1)	8(2)	20(3)

私立大学

大学	現	浪	計
中央		1	1
日本	1		1
早稲田		1	1
金沢工業	1		1
京都外	2		2
京都女		1	1
京都産業	6	1	7
仏教	1	1	2
龍谷	2	6	8
立命館	5	4	9
追手門		1	1
同志社	6	4	10
大阪音楽	1		1
大阪学院	6		6
大阪経済	4	8	12
大阪芸術	4		4
大阪工業	10	1	11
大阪産業	1	2	3
大阪商業	2	3	5
大阪体育	1		1
大阪電通	3		3
大阪[illegible]業	1	5	1
関西	8	3	13
近畿	14		17
国際仏教	1		1
摂南	3		3
阪南	2		2
英知	1		1
大手前女	1		1
関西学院	9	5	14
甲子園		1	1
甲南	11	3	14
甲南女	1	1	2
海星女	1		1
神戸女	8		8
神戸学院	23	4	27
神戸女学院	1		1
神戸女子薬	1		1
松蔭女	2		2
親和女	10		10
園田女	1		1
聖和	1		1
武庫川女	4		4
奈良	1		1
姫路獨協	4	3	7
宝塚造形	1	1	2
岡山理	1		1
第一工業		1	1
第一経済		1	1
合計	167	62	229

国公立短期大学

大学	現	浪	計
姫路	3		3
滋賀県立	1		1

私立短期大学

大学	現	浪	計
京都外国語	1		1
大阪音楽大	1		1
大阪成蹊女	1		1
大手前女	2		2
関西外国語	3		3
武庫川女	8		8
兵庫女	7		7
明石	1		1
芦屋女	1		1
甲子園	6		6
甲南女	2		2
海星女	4		4
神戸学院女	4		4
神戸常盤	5		5
山手女	14		14
夙川学院	3		3
松蔭女	4		4
頌栄	3		3
聖和	3		3
園田女	2		2
神戸女	10		10
関西女学院	3		3
同志社女		1	1
龍谷大短	1		1
光華女子	1		1
鉄鋼		1	1
合計	90	2	93

会報18,000枚 189,290- 案内17,500枚 87,500 封筒長3 17,000枚 110,000- 明祥堂

県下一の新運動場完成

着々と整備・充実の進む母校

いよいよグランド中央を横断する西明石山手線仕様道路が着工されました。これに伴って運動場移転工事も本格化して来ました。

すでに61年度に第一期工事として、これまでのグランド北側に隣接して新運動場（主として野球、ソフトボールの練習場）が完成しています。このグランドは野球とソフトが対角で練習しても殆んど支障がない広さです。さらに野球およびソフトのバックネット、高さ14Mの防球ネット、ダッグアウト、排水設備等が完備していてすばらしいグランドです。

現在は南端にテニスコートを整備する第二期工事が行われていて、一月中に完成する予定です。これが完成すれば、その跡地を陸上競技、サッカー、ハンドボールの練習場用に整備して全てが完了します。

完成したグランドは、面目を一新、従来より面積も広く、あちこちにあった遊び地の部分も有効に使用できるようになり、ずい分使い勝手がよくなります。県下の高校でも指折りの立派なグランドとなります。

五月十五日（日）には新運動場竣工記念式が開催されますので、ぜひ一度ご来校になってご覧ください。

盛大に新運動場竣工記念式典

防球ネットの続く県下一の広大な新運動場

活躍する母校の後輩

ますます成果あがる

今年のスポーツ界はソウルオリンピック目指し活気に満ち溢れています。高校スポーツ界でも63年全国高校総体が兵庫で開催されることになり地元として成功を期しもっか選手強化に励んでいるところであります。

昨年は全国高校総体重量挙で総合優勝したのをはじめ、県高校総体女子総合四位入賞と輝やかしい成績を収めました。又全国高校総体に重量挙四名、陸上競技一名、国民体育大会に重量挙一名、陸上競技三名が出場し、全国に明石南の名を轟かしてくれました。

こうした運動部の活躍は、シーズン終了直後から、来シーズンへ向けての活動が始まります。寒さ厳しい冬のシーズンは、大会の目標もなく大変つらい時期です。

この時期に、体力、精神力を十分鍛えることによって、来シーズンの成果につながってきます。

六十年代の学校教育の多様な時代に入り、勉学と運動の両立に苦慮するなかで、顧問先生の熱心な指導のもとに後輩たちは、明石南の輝かしい運動部の伝統を守るべく、日夜精一杯がんばっていますので、先輩諸兄姉の物心両面にわたる、暖かいご支援ご協力をおねがいします。

生徒指導部長　吉井健彦

伝統の強みを発揮

ウエイトリフティング部 全国大会で優勝

実った日頃の猛練習

第34回全国高校総体ウエイトリフティング大会の閉会式で「団体優勝、兵庫県立明石南高校」と公式発表があった時、私はじっと目を閉じていた。

そして11年間教えて来た生徒達の顔を走馬燈のように追いながら、万感の思いを胸に秘めていた。赴任当時、私はわがままで無鉄砲な教師であった。

当時の生徒らは余りの無謀さに、苦々しくそして本当に腹立たしく思った人達もいたに違いない。私が生き方を本当に見つめ直したのは、29才の折に体を壊し闘病生活を送ってからである。病気になること事態如何に間違った生き方をして来たかという証明でもあろう。それ以来人間関係はまず信頼し合うことが大切だと、原点を見つめながら生徒達に接するようになった。

創部39年目、私が赴任して11年目にして得た初めての栄冠は、生徒達との人間関係の中でゆっくり熟成されて生まれたものの集大成だと思うと、今日までの生徒達の出会いに心より感謝しなければいけないだろう。締めくくりとして「稔るほど頭を垂れる稲穂かな」という私の好きな言葉があるが、今後も慢心することなく人々に感謝の気持を忘れないで努力してゆきたい。最後に紙上を拝借し暁美会の方々へお礼の気持を込めながらペンを置きたい。

各回クラス会便り

同窓会は花盛り

▽高女二十一回、二十二回生

昭和62年9月13日（日）神戸市の六甲荘で、三好基貴先生の一周忌遺作展、教え子による同窓会を兼ね合わせて…会を開きました。

当日八木勇新校長（高校四回）先生も出席されました。名声に無欲だった恩師のすばらしい作品を前に作品を鑑賞するだけでなく、女学校時代のなつかしい想い出を偲び、楽しみに尽きぬ思いはせ、散会しました。

戦後、…同回生…続けましたが…会も、今回はいつまでも忘れられない…会となりました。

（文責－幹事小倉…）

▽高女十七回生

時　昭和62年10月18日

所　明石魚仙

出席者　山沢一之先生、クラス52名

案じていた台風十九号が通り過ぎた翌日、穏やかな日和に恵まれ、三々五々会場に集い旧交をあたためました。

私たちのクラスは幹事を交代制にして、毎年集ることにしており、欠かさず出席しますと、七夕さまのように会えるわけですが、それでも久しぶりの出席者ありなどで、一年間には積もり積った話、はずんできほどの賑やかさです。

担任の先生は山沢先生で、大変にこやかに、ご参加、会を盛り上げて下さいました。そして、教職につかれ一最初の生徒が私たちであった為、何時までも印象深く忘れ得ぬクラスであること、また、教育のあり方についてもお話しのことを承りました。

またたく間に楽しい時刻が経ち、一応お開きにしたのち、東京組との別れを惜しみ、中崎海岸に出て、風に吹かれながら潮の香を楽しんだり、明石大門の見事な落日を眺めて、やっと帰途についたグループもありました。（文責横山さや）

▽「明南神戸会」便り

昭和62年度明南神戸会総会は、四月二十六日（日）神戸…新館にて開催されました。

総会は神田総幹事の開会、永田会長の挨拶に始められ、次いで六十一年度の事業、会計報告が…幹事より行われ、承認された。その後事業、予算案も承認。議事は滞りなく終了した。

懇親会は、八木先生による乾杯で始まり、シャブシャブ料理に舌鼓を打ちながら近藤、沢田、宮下先生を囲んでの歓談、谷村さんの…新入会員の森川氏の自己紹介もあって時間延長し、九時近く再会を約して散会した。出席者は二十三名。

（文責　神田…高8）

先輩・後輩を結ぶ63年度総会ご案内

毎年5月第3日曜日

陽春の候となりました。皆様にはお変りないことと存じます。

さて、63年度の総会をお知らせいたします。今年度は母校にすばらしい、新運動場が完成しました。その新運動場の竣工記念式典が盛大に母校で行われます。

そこで、暁美会もその竣工記念に、協賛、賛助し、記念式典の当日、総会を同時開催することになりました。

どうぞお友達同級生お誘い合わせの上こぞってご参加下さい。

記

一、日時　63年5月15日（日）午前10時より午後14時まで

一、10時招待試合見学。11時同窓会館、11時15分総会。12時30分懇親会。

一、場所　母校・同窓会館　ホテルキャッスルプラザ

一、会費　四千円

母校職員異動

昭和五七年～六二年度まで

昭和五十七年度

着任

河内　清（大蔵高校より）

山口　瑞堆（復職）

花房　幹雄（東播工高より）

河津　秀俊（新採用）

山口　直一（明石北高より）

平田　洋子（新採用）

転任

有吉　清（退職）

松本　茂夫（高砂南高へ）

野坂　剛一（退職）

佐々木龍太郎（東播工高へ）

稲見貴美子（須磨北高へ）

寺田　典子（加古川北高へ）

三嶋　富子（退職）

岡村　久雄（明石清水高へ）

昭和五十八年度

着任

沼田　秀義（西宮北高より）

丹家　昌博（新採用）

飯尾　格（西宮北高より）

前田　英雄（明石高より）

山内　裕文（長田高より）

梅本　洋子（松陽高より）

築山　正雄（舞子高より）

木村光保子（伊川谷高より）

中井　均（新採用）

宮崎　弘子（新採用）

転任

尚　賢昭（農高定時制へ）

山崎　道哉（高砂高へ）

管　俊夫（退職）

前田　陽世（長田高へ）

深瀬　秀敏（長田高へ）

茶谷　萬喜代（退職）

小沢　芳子（舞子高へ）

松浜　正宏（松陽高へ）

河津　秀俊（退職）

昭和五十九年度

着任

稲木　良治（淡路農高より）

太田　満明（新採用）

原口　晃一（豊岡南高より）

中山　雄一（高砂高より）

斉藤　雅夫（明石清水高より）

小池　喜納（西宮今津高より）

船曳　信也（新採用）

深谷　利憲（新採用）

城賀　吉人（新採用）

出谷　稔（淡路農高より）

転任

町田　…（西播教育事務所へ）

野崎　聡視（明石清水高へ）

梅尾　智博（県寺高へ）

松本　邦宏（高砂高へ）

河辞　永作（退職）

風野　忠蔵（小野高へ）

高橋　保雨（明石清水高へ）

中井　均（退職）

宮崎　弘子（新宮高へ）

秋田豊三郎（退職）

昭和六十年度

着任

松本正義（丹育教育事務所より）

八木勇蔵（市立尼崎東高より）

浅田　修一（長田高より）

丸山　稔（舞子高より）

田中　良子（伊丹西高より）

中島修平（市立尼崎東高より）

安積　演子（新採用）

道方　晩蔵（新採用）

高野　彰三（兵庫高より）

野村　晴子（宝塚西高より）

内田　紀子（新採用）

福永千津子（御影高より）

豊留　高明（新採用）

転任

河内　清（伊川谷高へ）

岩田　修（退職）

衣笠美千代（明石城西高へ）

玉岡松一郎（退職）

菊本　武（鈴蘭台高へ）

後藤　孝枝（高砂南高へ）

樋　千俊（神戸高塚高へ）

片原　克人（姫路北高へ）

山口　直一（須磨東高へ）

築山　正雄（飾磨高へ）

平田洋子（県教委事務局へ）

泉　治雄（退職）

広岡　…（退職）

宮田　長龍（退職）

昭和六十一年度

着任

鈴木　雄一（福崎高より）

北井　仁志（加古川南高より）

松本一人（市立尼崎東高より）

徳田　稔一（川西緑台高より）

柳瀬郁代（いなみ野養護より）

大谷　弘志（新採用）

転任

東　たかね（高砂高へ）

原田　雅紀（三木東高へ）

吉原　誠雄（加古川南高へ）

木下　文子（姫路東高へ）

安積　演子（非常勤へ）

木村光保子（退職）

野村　晴子（退職）

福永千津子（退職）

昭和六十二年度

着任

河合　…（尼崎東高より）

久下　豊（津名高より）

増田　俊夫（新採用）

井上和義（市立尼崎工高より）

坂井啓太郎（新採用）

小川　由美（新採用）

泉　由香（新採用）

長瀬　綾子（淡路農高より）

転任

松本　正義（三木高へ）

太田　満明（津名高へ）

前田　英雄（三木東高へ）

中谷　聡子（淡路農高へ）

【訃報】

池内立明先生　昭和六十一年八月二十日　逝去されました。慎んで哀悼の意を表します。

編集後記

経費節減のため五年に一回発行の会報です。十分な内容を盛り込めないのが残念です。高校19回生佐野さんからクラス会便り頂戴しましたが、紙面に入りきれず掲載出来ませんでした。深謝いたします。